



浦崎みゆき 議員

子育て世代支援へ 取り組みを

答 保育コンシェルジュを活用し子育て環境の充実を図る

問 本町の待機児童数の変化はどうか。

副町長 待機児童は、184人となっている。

問 待機児童解消に向けて緊急的に対応する施策の中で、本町が取り組んでいる項目はどのようなものがあるか。

副町長 本町の取り組みは
①保育コンシェルジュの設置
②保育士の業務負担軽減のためのICT化の推進
③小規模保育の改修費支援の拡充
取り組める部分は積極的に活用している。

問 保育コンシェルジュの導入活用をどのように考えるか。

民生部長 保育コンシェルジュはトータル的に子育て支援という位置付けで今後も設置する。

女性の健康対策を

問 乳がんのワンコイン

(500円) 検診導入の見解を問う。

副町長 受診率向上にもつながるものだと思う。導入は財政的負担や県内の状況等を調査し検討する。

問 多胎妊婦の健診費用助成の拡充をするべきではないか。

副町長 多胎妊婦の公費助成は、一般と同じ14回となっている。助成を拡充している自治体もあり状況等を調査して検討する。

妊娠週数	妊娠月数	公費検診受診時期	検診内容
8～11	3カ月	1回目	健康診断、血液検査、子宮頸がん検査、超音波検査
12～15	4カ月	2回目	健康診断
16～19	5カ月	3回目	健康診断、超音波検査
20～23	6カ月	4回目	健康診断、超音波検査
24～25	7カ月	5回目	健康診断、超音波検査血液検査、超音波検査 HTLV-1抗体価検査
26～27		6回目	健康診断
28～29	8カ月	7回目	健康診断、超音波検査
30～31		8回目	健康診断、血液検査（貧血検査）、超音波検査
32～33	9カ月	9回目	健康診断
34～35		10回目	健康診断、超音波検査
36	10カ月	11回目	健康診断、血液検査（貧血検査）、帯下培養 超音波検査
37		12回目	
38		13回目	健康診断
39		14回目	

妊婦健康診査内容

住民環境の整備を

問 北丘運動公園にトイレを設置する考えはないか

町長 大衆が集まる場にはトイレが必要だと思う。メニューがなければいろんな知恵を出し、知恵がなければ単独でもやるような姿勢で指示をしていきたい。



トイレ設置が望まれる北丘運動公園